

## ヨシの生産量(バイオマス)調査～琵琶湖博物館と協働調査

1. 目的 : 冬のヨシ原の生産量の実証調査 (最新の科学的データの蓄積)

～ 製品として利用される冬期のヨシについて ～ カーボン認証制度を見据えて ～

1㎡当たりの調査

- ① 高さ
- ② 密度
- ③ 重さ
- ④ 太さ
- ※ 炭素量 (CO<sub>2</sub>)

2. 調査地域 : 西の湖周辺のヨシ原

3. 調査日程 : 2018年2月10日(土) のヨシ刈り後 PM1:00～予定

2018年2月24日(土) のヨシ刈り後 PM1:00～予定

※ 持ち物 : 筆記具・電卓・剪定ばさみ(ある人は)  
午後のため、おにぎり等の軽食(トン汁あり)

4. メンバー : 琵琶湖博物館 (林学芸員)  
ネットワーク・・・随時募集  
コクヨ工業滋賀  
滋賀県

5. 調査方法 :

- ① 各地点において3m×3mの方形プロットを設置する。(1プロット4～5名)
- ② 各プロットにおける平均ヨシ高さを測定。(切る前に)
- ③ プロット内の全てのヨシを切り取る。(地上10cm位の所を剪定ばさみで)
- ④ 全ヨシ数・穂のないヨシ数・細いヨシ数を数える。
- ⑤ 全ヨシ重量を測る。(束単位)
- ⑥ 30本のヨシを無作為に選んで根際の直径を測る。(ノギス)  
⇒ 測定後、博物館で湿潤&乾燥重量を測るため、30cmに切断し封筒につめる。

※ 1プロット約20分位。最低5プロットを調査。約2時間程度の作業。

### 《 調査風景 》

